



コウノトリと桜

コウノトリは日本の代表的な大型水鳥。国の特別天然記念物、国内希少野生動植物に指定されています。

コウノトリはかつて日本全国に生息していましたが、密猟や環境汚染などが原因で、1971年に国内の野生繁殖個体は消滅しました。

その後、1980年代後半に多摩動物公園やコウノトリの郷公園などで人工繁殖に成功し、2005年にはコウノトリの郷公園が野外への放鳥を開始し、コウノトリの野生復帰が実現しました。

越前町八田に人工巣塔が設置されており、2024年に初めて雛が誕生しました。